

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-101152

(P2016-101152A)

(43) 公開日 平成28年6月2日(2016.6.2)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
AO1D 1/08 (2006.01)	AO1D 1/08	Z
AO1B 1/22 (2006.01)	AO1B 1/22	
AO1D 1/04 (2006.01)	AO1D 1/04	A

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2014-267212 (P2014-267212)  
 (22) 出願日 平成26年11月27日 (2014.11.27)

(71) 出願人 515013362  
 諸田 晋一  
 神奈川県海老名市上今泉 3-9-15  
 (72) 発明者 諸田 晋一  
 神奈川県海老名市上今泉 3-9-15

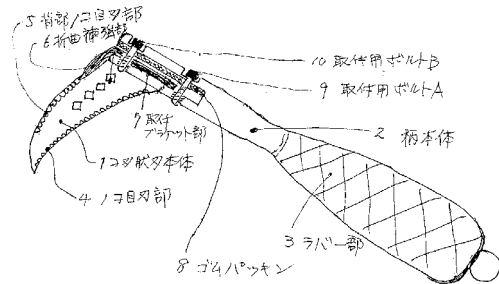
(54) 【発明の名称】 作物等の根部、切り向き専用、ノコ刃▲状▼手持鎌

(57) 【要約】

【課題】 作物と作物との間に、育った、不用草や、不用作物等の、除草作業や、間引き作業として、リストラ作業を、合理的に、実行するには、良い管理用補助道具の発明が必要だった、

【解決手段】 ノコ目刃 状 手持鎌の改善で、ノコ目刃 状 が、刈刃側(4)、上部背部(5)も、同じ、U字体風ノコ目刃 状 にした事、刃の柄側をL字取付用ブラケットを立ち上げ(7)、ブラケットの固定用ボルト穴は1コ(14)、刃地面对柄作業角度調整用に、(15)スリット穴を設け、角度自由、ボルトによる、刃の固定なので、セパレート型式で、刃のみ取り替へ、柄はラバー等利用して、スベリ止や、長時間作業に向く柄にしても、再利用性が上つて、経済性が上り、エコでもある様改善発明した、作物等の根部切り向き専用ノコ目刃 状 手持鎌の発明である。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ノコ目刃 状 が、刈刃側（４）、上部背部（５）、も同じ、Ｕ字体風ノコ目刃 状 、刃取り付ブラケット部の、固定用ボルト穴（１４）が１コ、刃地面角度対、柄角度調整用に、（１５）スリット穴を設け、フリー角度調整出来る、刃取り付を、ボルト利用で、自由に、刃部を、取り替へる事が、出来る、セパレート型式であることを、特徴とする作物等の根部切り向き専用ノコ刃 状 手持鎌

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【０００１】

ガーデンや畑等の管理用、補助道具

## 【背景技術】

## 【０００２】

作物と作物との間に、育った、不用草や、不用作物としての、除草や、間引き作業として、作物のリストラ作業を、やる、必要性が有り、各人の都合で、クワやカマ等の用具の力を、借りたり、手指で、抜き取り等で、各人の勝手に、あまり合理性が無く、手指による抜き取り作等は、友抜きが多く発生して、残す、作物の根を痛める等、改善の必要性があった

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【０００３】

【特許文献 1】特開 2 0 0 4 - 1 6 2 3 3

## 【発明の概要】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【０００４】

作物と作物との、間に育った、不用草や、不用作物等を、除草や、間引作業を、合理的に、進める事が出来る、管理補助道具としての、作物等の根部切り向き専用ノコ刃 状 手持鎌の、改善発明

## 【課題を解決するための手段】

## 【０００５】

ステンレス刃材等でも、普通型のノコ鎌や、クワ、カマ、草抜き等では、一つの道具では、一方性が強く、合理的作業が、やりづらいや、草抜きでは、残すべき、作物の根の、友抜きで、根を痛める等で、一つの道具で、合理的作業が出来なかった、そこで、鳥の口バシ、又は、ササの葉型と、云われる、クサビ型に近い、型のカマ型に、改善、刈刃は、ノコ目刃を用いる、上部、背部も、刈り残し等、発生あるも、カマ部の、差し換え無しでも、上部えの押し刈や、左右刈等の連続作業が、出来る様、手前の刈刃と、同等に、ノコ目刃 状 を設ける、主な作業は、作物等の、基根部のすぐ下部の、手根部の切断作業が、合理的作業で、これが、主体に、成るので、クワ作業に近い、作業性が、必要なので、刃部の地面对角度が、重用なので、各人自由に出来様、ブラケットの有るボルトによる、取り付型式に、刃がスリヘリ不使用に成っても、刃部のみ、自由に、交換出来る、柄は再利用出来るので、ラバーを使い、使用の合理性を上げました

## 【発明の効果】

## 【０００６】

作物と作物の、間に出来た、不用草や、間引必要な、作物等、除草や間引作業は、基根部のすぐ下部の、生でヤワラカイ毛根部を、ノコ目刃 状 鎌を使う事で、合理的作業が出来て、残す作物の、根を痛める、友抜き等も、発生が少なく、草も毛根部を、刈るので、再起草の発生も、少なく成る、ノコ刃部は、再トギを、くり返し、使用するが今までは、刃が、不用に、成ったら、柄も不用に、するしか、なかったが、セパレート型式に、改善した事で、柄は、連続使用出来るので、エコでもあり、ラバー等を用いて、使用の合理性を、高めた柄を開発しても、不経済ではなく、連続作業等が楽に成ります

10

20

30

40

50

作物等の根部切り向き専用ノコ刃 状 手持鎌の改善発明

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明 使用可時上部よりの、ボルト部透視図入り、見取り図

【図2】本発明 柄部左側よりの見取り図

【図3】本発明 柄部右側よりの見取り図

【図4】本発明 ノコ刃部真上よりの見取り図

【図5】本発明 ノコ刃部水平刃部より背部えの見取り図

【図6】本発明 ノコ刃部右側より、ブラケット部見取り図

【図7】本発明 ラバー性パッキン見取り図

【図8】本発明 刃取付用ボルトA B見取り図

【図9】本発明 柄先に刃組立時配置ボルト部透視図入り見取り図

【図10】本発明 柄、刃取り付部左側より見取り図

【図11】本発明 柄、刃取り付部右側より見取り図

【発明を実施するための形態】

【0008】

手に持つ柄と、その先に、作物等の主に、毛根部切り向き専用ノコ目刃を向けた、管理作業用補助道具としての、作物等の根部切り向き専用ノコ刃 状 手持鎌

柄部は、図1、図2、図3の(3)に、示した様に、合理的作業が、楽に、続けられる様に、ラバー等を使用し、合理性を高めました、刃、取り付部は、外付もありますが、これは普通のカマ等も使用のスソ割型での発明である、刃部は図4、に示した様に、全体に鳥の口バシ、ササの葉、クサビ型と云える型である、(1)の刈刃のカーブ曲りは、柄側の直線部を基に、刃渡り約10cmを例に、刃部全体を、大体約4分割に見て、柄側を基準にして、約40°広がり曲りで約2.5cm、次約50°広がり曲りで約2.5cm、次約65°広がり曲りで約2.5cm、刃先までは約80°広がり曲りで約2.5cmで連続自然カーブで、刈刃部を成し、上部背部は、刃先約2cmは巾約1cm、左上カタ部は、角落ちの鳥の口バシ型のカーブ、約2cmそのあとは、柄元まで直線ではなく、約中途間約5m/m巾の上部外側への、自然的な、ふくらみの有る曲線カーブで成る、柄元で、図5、(7)の様、L字ブラケット部を成す、L字折曲部上部は、L字補強用に折曲補強部と成す、ブラケット部は、図6、で示す様に、(14)固定ボルト穴、(15)角度調整用スリット穴を設ける、(6)折曲補強部です、ノコ目刃は、毛根を切断するを、主、作業とするので、どうしても、土を切り、スリヘリます、再研ぎが、必要で、この作業を実行しやすい道具、手近に、利用出来る、切断サンダー機が便利な様に、U字体風ノコ目で、設けます、ノコ目刃3m/m毎、切断トイシ2m/m厚品で、再、研ぎ出来、手軽です、図4、(4)ノコ目刃はこの刃です、上部背部ノコ目刃(5)も、これと同じ3m/m毎、U字体風ノコ目刃を設けます、柄への刃取り付は、図9、刃組立時配置見取り図で、説明します、柄先刃取り付部は、図9、(2)の様にスソ割型に設け、柄先を上に見て、右側に、ゴムパッキン、左側にノコ刃取り付用ブラケット(7)を組み入れ、ボルト穴(16)に、ボルト(10)ボルト穴(17)に、ボルト(9)で取り付けます、刃取り付穴はブラケットには、固定用、図6、(14)1コ、(15)スリット穴側はフリーに成りません、ゴムパッキン(8)とスリット穴の共働で、刃対柄の角度を決めたら、(9)と(10)のボルトをシメて固定します、ゴムパッキンがスリット穴に喰い込み共働して、固定します、固定出来たら、ラバー部を手に持ち、作業します

【符号の説明】

【0009】

- |            |                |          |
|------------|----------------|----------|
| 1、ノコ刃 状    | 刃本体            | 2、柄本体    |
| 3、柄ラバー部    | 4、ノコ目刃         | 5、背部ノコ目刃 |
| 6、折曲補強部    | 7、刃取付ブラケット部    |          |
| 8、ゴムパッキン   | 9、取付用ボルトA      |          |
| 10、取付用ボルトB | 11、発明者イメージデザイン |          |

10

20

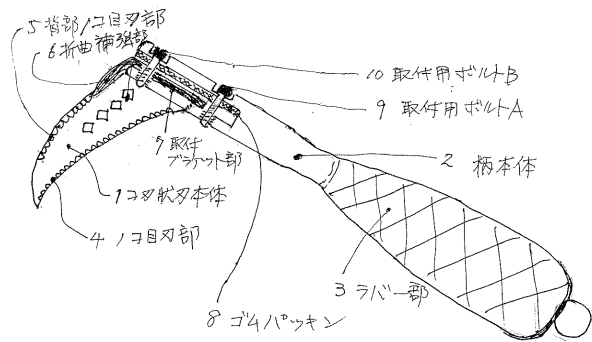
30

40

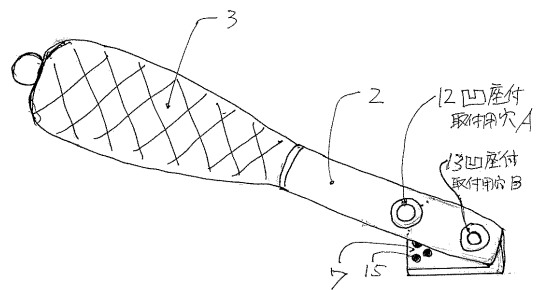
50

- 1 2、凹座付取付用穴 A      1 3、凹座付取付用穴 B
- 1 4、ボルト穴      1 5、角度調整用スリット穴
- 1 6、ボルト用穴 B      1 7、ボルト用穴 A
- 1 8、ナット山付ボルト穴 B      1 9、ナット山付ボルト穴 A

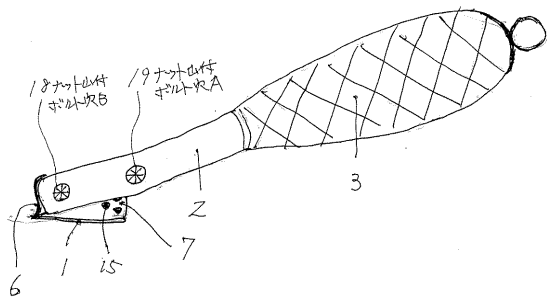
【 図 1 】



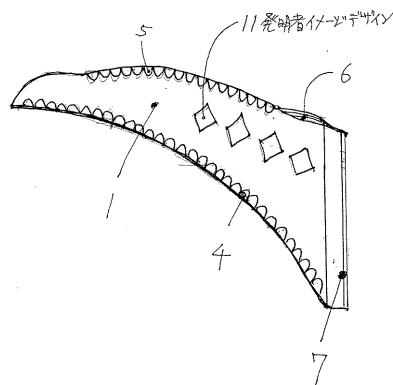
【 図 3 】



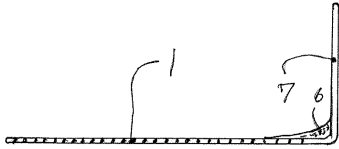
【 図 2 】



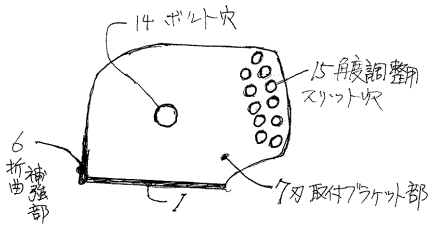
【 図 4 】



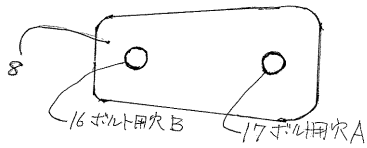
【図 5】



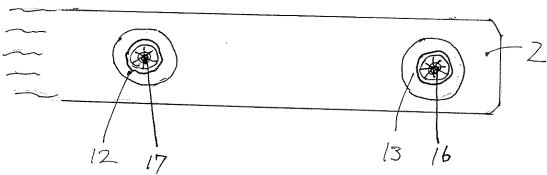
【図 6】



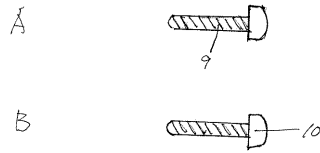
【図 7】



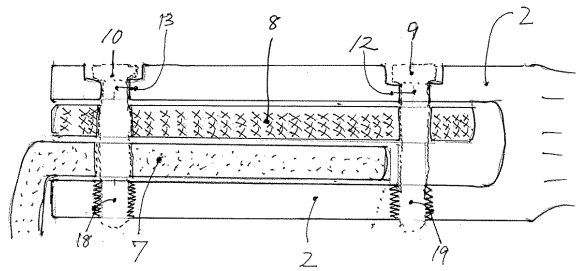
【図 11】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

